

シリーズ
この人に聞く



度は売上高が前年比五%アップとなりました。これもひとえにお得意先様各位のご支援の賜物と、感謝を申し上げる次第です。

このところ、世界各地でワクチン接種が進み、新型コロナウイルス禍の問題にも、ようやく明るい兆しが見えて来たようです。

この間、インテリア業界は、リモートワークの普及やステイホームによる在宅時間の増加を追い風に、他業種と比べれば、順調な推移を見せたと言えるかもしれません。

お陰様で当社も、昨年

立ち直りつつある北米で、バイデン政権の政策により、住宅の新築需要が増加したこと、またスエズ運河における座礁事故で船舶による物流に世界的な乱れが続いていることよって、木材の輸

この問題は今年の秋冬頃から、オーダーカーテンなどインテリアファブリックス分野の仕事にも特にローコスト住宅業者において大きな影響を及ぼして来るのではないかと心配しております。

生まれると思います。当社では今年一月、創立三十年記念誌『積小為大』を発行しました(電子書籍化し、ホームページにて公開しました)。

二宮尊徳と言えば、薪を背負いながら本を読む銅像のイメージがありますが、近年新たな角度から再評価が進んでいるように、現在放映中のNHK大河ドラマ「青天を衝け!」の主人公、渋沢栄一にも大きな影響を与えています。

ですが、新型コロナウイルスがまだ油断できない状況ですので、来年九月に延期します。その代わりに、今年(株)ユザワのお得意先様だけに人数を制限した上で、特別企画として、ザ・リッツ・カールトンホテル日光の見学会を実施する予定です。

株式会社ユザワ 代表取締役 湯澤隆司氏

コロナ禍の先のことを考えよう! さらなる付加価値を高めよう

世の中では、自粛疲れのせいから、一部で緩みも見られるようですが、当面の間は引き続き、ルー

ルに則った感染対策を実践しながら営業活動を続けるとともに、ホームページを刷新するなど、事業の数年先をじっくり考え、組み立てていく必要があると考えています。

入に影響が出る「ウッドショック」が懸念されています。

住宅に使用する木が入って来ないことで、国内では今後、竣工時期に大幅な遅れが生じると予想されます。

しかし、こういう厳しい時にこそ、風向きをよく読み、先を見据えた準備を重ねることが肝心です。自分たちのビジネスの付加価値を高めるため、いまどんな備えをするかで、数年先に大きな差が

所縁の地です。

しかし、こういう厳しい時にこそ、風向きをよく読み、先を見据えた準備を重ねることが肝心です。自分たちのビジネスの付加価値を高めるため、いまどんな備えをするかで、数年先に大きな差が

尊徳の言葉です。毎日毎日の小さな努力の積み重ねが大事で、また小事を疎かにしてはいけないという考え方です。当社の二〇二一年は(株)ユザワの創立三十周年に当たります。

本来であれば、みなさんをお招きして記念事業を実施するべきところで

ですが、以前も、インテリア業界関係者対象に金谷ホテルの見学会を実施しましたが、こうした世界的なリゾートホテルがあることが日光の強み。私共の細やかな事業が地域経済に貢献することにもなりますので、引き続き地の利を生かした企画を推進していく所存です。ご支援ください。

(談)